

特集

研究と現場の実践から見えた！ 看護小規模多機能型 居宅介護の現在地と これから向かう先

看護小規模多機能型居宅介護（看多機）は通い・泊まり・訪問看護・訪問介護の組み合わせでサービスを臨機応変に一体的に提供でき、退院直後の不安定な状態への介入、中重度の医療ニーズへの対応、看取りに向けたケアなど、幅広いサポートが可能になったといった現場の声が聞かれます。一方で事業所数は1000程度と、その手応えとは裏腹に当初の想定ほどには増えていない現実もあります。

看多機は現在、地域においてどのような役割を果たすものになっているのでしょうか。今後、「身近な地域で利用できるサービス」となるためには何が必要なのでしょう。本特集では、研究者による調査研究と、長らく看多機に力を注いできた実践者の声から、看多機の今を見つめ、向かう先を考えます。

看多機の現在地とこれからの方向性

●福井小紀子

看多機の普及に向けた取り組み

●田母神裕美／福田裕子／廣岡佳代

看多機レポート

●坂町ミモザの家／ラビオンナーシングホーム

※一部変更となることがあります。

編集後記

先日、家族で出かけている最中に街中で大道芸人の方がマジックを披露している場面に遭遇しました。一緒にいた子どもたちは初めて見るマジックに目を輝かせ、「どうやっているの?」と驚いていました。帰宅後に彼らはマジックを真似してみるも、思ったようにできず、なんだか釈然としない様子でした。▶今回の特集では、「訪問看護に来ていきなり必要になる看護技術」の第2弾をお届けしました。足浴・スキンケア・陰部洗浄・オムツ交換、それぞれの様子を撮影した際に感じたのが、「とても手際よくスムーズに実践していた」ということ。慣れた方からすると難しい技術なのかもしれませんが、手先が器用でない素人な自分は、「どうやっているの?」と感じました（特に陰部洗浄・オムツ交換）。高い専門性を持った技術ほど、いとも簡単にやっているように見えるのかもしれませんが。実践して下さった佐藤直子さんの何気ない手さばきにシビれた本号でした。…高橋

訪問看護と介護 第30巻 第3号（通巻327号） 2025年5月15日発行（隔月15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo*2025, Printed in Japan

1部定価：1,760円（本体1,600円+税10%）

販売・PR部：☎03-3817-5650 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：高橋・小池

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp X (旧 Twitter) @houmonkango Facebook @houmonkangotokaigo

医学書院ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

印刷：三報社印刷株式会社

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動含む）で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*「訪問看護と介護」は株式会社医学書院の登録商標です。